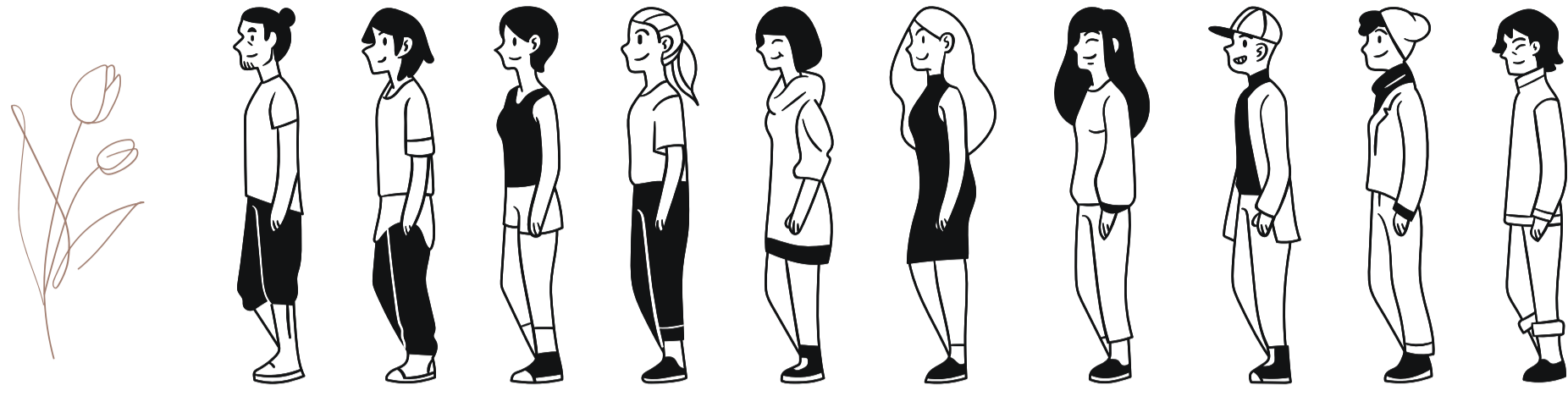


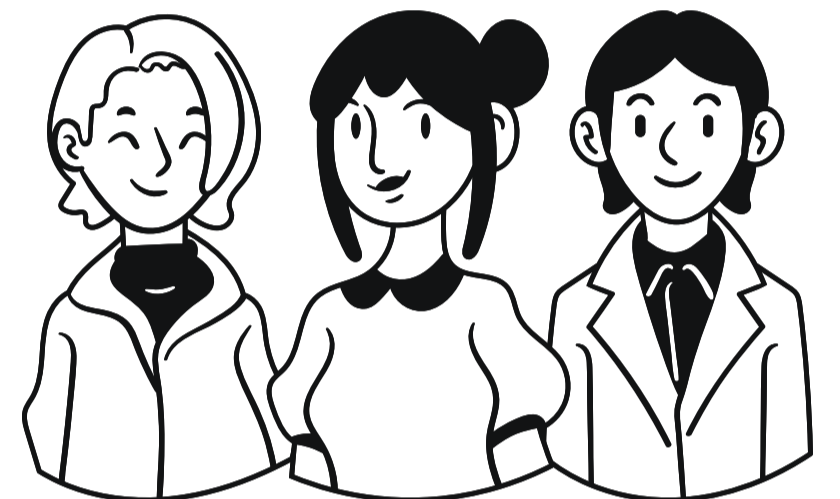
# いのちの授業 ～血液の病気から見える景色～



「がん」の患者さんに  
出会ったら？

なにかできる？

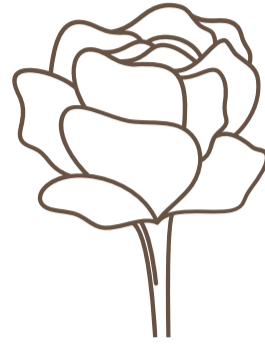
どう接する？



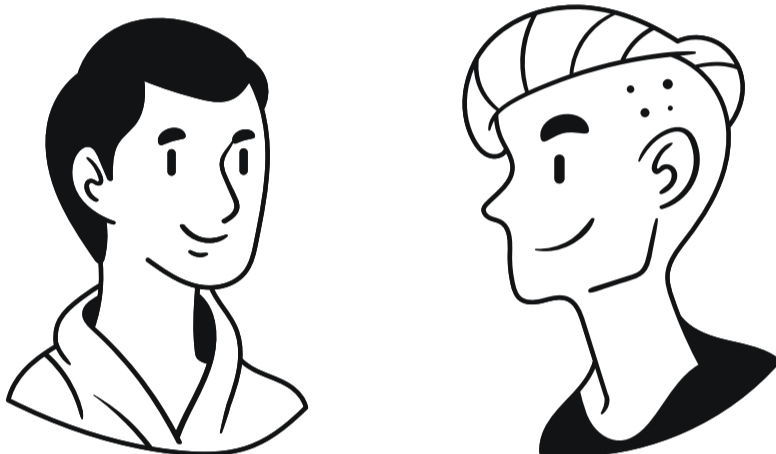
「がん」ってなんだよ



防ぐことはできるの？



「がん」になってしまったら？



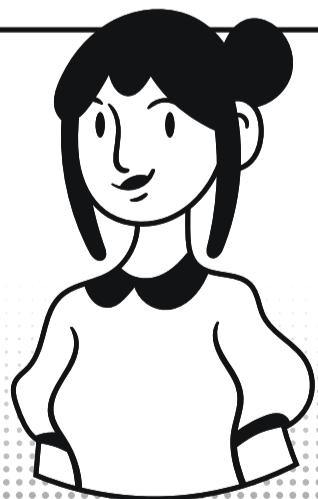
いま、これから。  
わたしたちに出来る事はあるのかな。



2022年11月11日 浜松市立三方原中学校

誰にでもかかる身近な病気なんだね。  
早期発見が大切だと分かったよ。  
治療法もいろいろあるんだね。

1年 A子



祖母が「がん」と戦っている姿を見ると悲しかったけど、向き合って支えていこうと思った。

1年 B実



病気になっても、サポートしてくれる人がいるんだね。支援してくれる人がいるなら家族も心強い。  
自分にもできることがあるのかな。

3年 C太



ヘアードネーションや献血など患者さんの支えになる行動があるということを知ったよ。

2年 D助

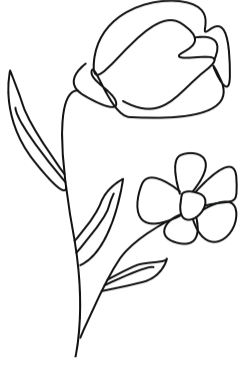


## 対象

小学校・中学校・高校・専門学校・大学等の学生



## 背景



日本では、病気を克服し社会に復帰される人、病気を抱えながらも自分らしく生きている人が年々増加しています。

その一方で、社会生活と治療との両立が困難だと感じたり、偏見が気になったりというがん患者が存在します。がん患者に出会う機会が増えつつある今、患者への差別を無くし、互いに支えあいながら共存する社会の形成が必要となってきました。

### 目的

1

がんなどを中心とした血液の病気の症状やその経過・治療法を知ることによって自らの健康について考え、命のかけがえのなさを知る機会をつくることができる。



### 内容例

白血病や血液の病気とは何か（病気の症状やその経過、治療法など）

### 目的

2

移植経験者の話を聞き、がんが身近な病気であることや、治療方法があることを知り、がんと向き合う患者と協働・連携していく社会の実現を考える機会をつくる。



### 内容例

移植治療の紹介、移植を経験した患者、提供をしたドナーの体験談

### 目的

3

「命のつながり」を知り、自他の命の大切さを考え、社会貢献に繋げるための機会をつくる。



### 内容例

「ドネーション」の紹介

### 目的

4

ボランティアの様々な活動や、医療スタッフ、施設の連携があることを知り、他者の命を守るために自主的にできることを考える機会をつくる。



### 内容例

ボランティアや医療者の紹介、治療にまつわる本の紹介

## 講師

浜松医科大学医学部附属病院  
造血細胞移植コーディネーター  
三井梢・影山優子

## 関連リンク

- ・ 日本骨髄バンク <https://www.jmdp.or.jp/>
- ・ 造血幹細胞移植情報サービス  
(骨髄バンク・さい帯血バンクポータルサイト)  
<https://www.bs.jrc.or.jp/bmdc/index.html>

## お問い合わせ

● 浜松医科大学医学部附属病院 造血細胞移植センター ☎ 053-435-2712 (直通)

造血細胞移植センター  
ホームページ



- 本院は『造血幹細胞移植地域推進拠点病院』に選出されており、「いのちの授業」は事業の一環として行っています。
- 当センターでの講師派遣について、基本 特別な費用はかかりません。
- 開催の場所、方法(オンライン、現地開催)、内容、時間等 は個別にご相談ください。